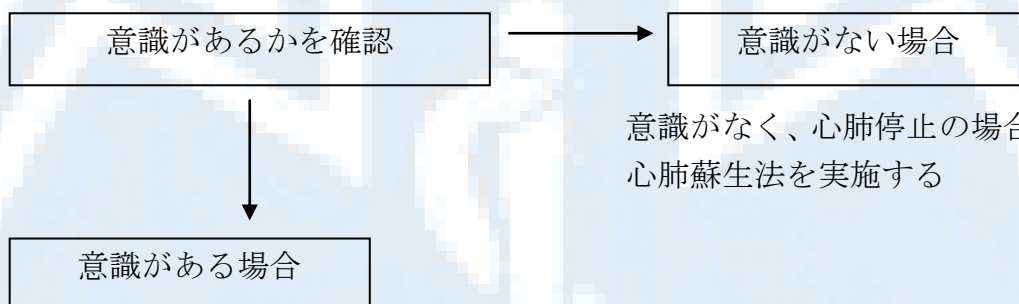


気道異物について

物を喉に詰まらせると空気の通り道（気道）がふさがれ、呼吸ができなくなって窒息死してしまふことがあります。特に物を飲み込む力が弱い高齢者や小さな子供は何らかの拍子にのどにつまらせ不測の事態を招くことがあります。

のどに物が詰まると、胸やのどを押さえるような仕草をすることが多く、このようなしぐさを見たらのどに物をつまらせ助けを求めていることを察知し、すぐに手当てをすることが必要です。

【応急手当の方法】

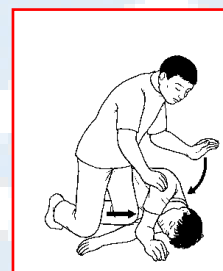


(咳き込んでいる場合)

できるだけ咳を続けさせ、自分のせきで異物を吐き出させる

(背中をたたく)

手のひらで肩甲骨の間を数回、強くすばやくどんと叩く。



(肩甲骨の間をたたく)

(上腹部を圧迫する) 腹部突き上げ法

患者の背後に回り、片手で握りこぶしを作ってわきの下から前に回し、患者のみぞおちに当て、反対の手も同様に回して握りこぶしをにぎり内側上部に向けて圧迫するように押し上げる。



(胸部突き上げ法)

(側胸下部を圧迫する)

胸の外側のやや下の部分に手のひらを置いて、内側に引き絞るように、ギュッと圧迫し肺にたまっている空気で異物を押し出す。1度でうまくいかなかった場合は数回試してみる。



口の中の異物や吐き出した物は、顔を横に向けて口を開いてかき出すようにして取り出す。

指にハンカチなどを巻いて行うと取り出しやすい。

尚、かえって異物をのどの奥に押し込むこともあるので注意しながら行う。



(顔を横に向けてかき出す)